

## 教科書の特徴

教科書名：EARTHRISE English Logic and Expression II Advanced (104 数研 論II 710)

### ① 内容

- A. 題材は、学習者にとって身近に感じることができる日常的な話題や社会的な話題などバラエティに富んだ内容(言語材料・言語使用の状況など)が扱われている。
- B. 英語を通じて積極的にコミュニケーションを図る態度を育成するため、問題演習の指示文では英語が用いられている。また、表現活動を行いやすいように、モデルとなる会話文やパラグラフを用意し適宜活動の支援となるように配慮されている。
- C. 「話す(やりとり)」「話す(発表)」「書く」の2技能3領域をバランスよく扱い、さまざまな活動を通じて、論理的に話すことや、論理の展開や構成を工夫して文章を書くことを確実に行えるようになっていく。
- D. 多様な観点や立場からの考えや意見を引き出すことができるような場面や状況を設定することで、学習者が主体的・自律的に授業に参加することができる構成になっている。

### ② 構成・分量(単元の配列や特色・分量)：本資料末尾に CONTENTS を掲載。

#### A. 全体の構成

- 1. 前見返しでは、英語の句読法(English Punctuation)が掲載されている。生徒が英文を読んだり、書いたりする際に、適宜確認し、活用できるようになっている。
- 2. 「はじめに」では、パラグラフの構成や展開について、モデル文とともに掲載しており、正課 Part 3 で扱う内容と相互参照することが可能となっている。
- 3. Part 1～Part 2 では、モデルとなる会話文やパラグラフを読んで、文法や機能表現を確認しつつ、テーマに沿った内容について、英語で表現できる構成になっている。1課6ページ構成で、各課で「話す」活動を主とした Let's speak about...、「書く」活動を主とした Let's write about...のページを設け、発信技能をバランスよく身につけることができるようになっている。
- 4. Part 3 では、パラグラフの構成・展開パターンを学習したあと、グラフや表などの資料と文章を読みながら、その内容について英語で表現できる構成になっている。1課6ページ構成で、テーマに沿って話す・書く活動をバランスよく行うことができる。
- 5. スピーチ・プレゼンテーションやディベート・ディスカッションの進め方についてわかりやすく解説したページが設けられている。また、活動する際に参照できるようになっている。
- 6. 巻末には、正課で学習した文法・表現の関連事項をまとめた Expressions Plus が設けられている。
- 7. 各課のテーマに関連する語句が巻末 Useful Expressions でまとめられており、表現活動をする際に役立てることができるようになっている。

#### B 各課の構成

##### Part 1・2

##### 1. 導入

- ・CAN-DO では、各課で達成すべき目標が3領域(「話す(やりとり)」「話す(発表)」「書く」)に分けて提示されており、生徒が明確な目標をもって学習に取り組めるようになっている。
- ・Before you start...では、授業の導入として、写真に関するリスニング問題と簡単な自己表現をベースとした活動ができるようになっている。

## 2. Let's speak about...

- ・各課のテーマに関連する写真や図表、ポスター、ウェブサイトなどさまざまな形式の素材及び、それに関連する会話文が掲載されている。この会話文をモデルとして、やりとりや発表の活動につなげることができるよう配慮されている。
- ・Listening Quiz では、会話文に関する簡単なクイズで内容を確認することができるようになっている。
- ・Basic/Functional Expressions では、会話文に出てくる文法・機能表現を取り上げて簡単に解説しており、そのあとの活動に役立つ内容となっている。
- ・Task 1 ではモデルの会話文の内容を整理し、Task 2 では重要表現を使って自分のことを表現したり、ペアで話し合ったりする活動が用意されている。さらに、Task 2 でまとめた内容を使って、Goal で発表をすることができるようになっている。段階的に行う活動のため、生徒が無理なく取り組むことができる構成になっている。また、発表した内容に対して質問をしたり、それに答えたりというやりとりの活動も行うことができる。
- ・TRY では、各課のテーマに関して自分のことを表現する活動を行うことができるようになっている。

## 3. Let's write about...

- ・Listening Quiz では、モデル文を読む前に、関連する会話文を聞いて答えるクイズを行うことができるようになっている。
- ・モデル文として、メール、ブログ、レビュー記事、申し込みフォームなどさまざまな形式の文章が扱われており、だれに向けたどんな文章なのかを意識しながら読んだり、書いたりできるようになっている。
- ・Task 1 では、モデル文に関する簡単な確認問題を行うことができるようになっている。
- ・Basic/Functional Expressions では、モデル文に出てくる文法・表現を取り上げて簡単に解説しており、そのあとの活動に役立つ内容となっている。
- ・Task 2 では、自分のことに関して英語で表現し、Goal では、モデル文を参考にしながら、Task 2 の内容を使ってまとめた1~2パラグラフの文章を書くことができるようになっている。
- ・TRY では、書いた内容についてペアやグループで話し合ったり発表したりする活動が設けられている。

## 4. 課末

- ・What do you think?では、ディベートやディスカッションにつながる活動が用意されている。日常的なものから社会的なものまでさまざまなテーマが扱われている。また、語句や表現のまとめや二次元コードからテーマ解説スライドを見ることで、活動の支援となるよう工夫されている。
- ・導入のページで提示した目標(CAN-DO)の到達度を確認できるチェックリストが設けられており、

自己評価をすることが可能となっている。

### Part 3

#### 1. 導入

- ・CAN-DO では、各課で達成すべき目標が3領域が提示されており、生徒が明確な目標をもって学習に取り組めるようになっている。

#### 2. パラグラフの構成・展開パターン

- ・教科書巻頭の「はじめに」で解説したパラグラフの構成・展開パターンを、各課で例文を用いてさらに解説している。

#### 3. Express Yourself Logically

- ・グラフや表、Eメール、雑誌のページなどを活動の資料として扱い、さらにそれに関連した文章が提示されている。
- ・Task 1で内容の確認をしたあと、Task 2でグループもしくはペアでやりとりをする活動が設けられている。Task 3では自分の考えをまとめ、Goalでは、パラグラフの構成を意識しながら、英文を書くことができるようになっている。
- ・Extra Activityでは、イラストや表を使った表現活動などを扱っている。

### ③ 表記・表現 及び 使用上の便宜

- A. 各課の問題・活動に関しては、指示文が英語で表記されている。これによって英語による授業が進めやすくなるように工夫されている。また、前見返しに English Punctuation が掲載されており、英語の句読法にも注意しながら書く活動を行うことができる。
- B. 各課の最初に CAN-DO が3領域(「話す(やりとり)」「話す(発表)」「書く」)別に掲載されており、生徒が明確な目標をもって学習に取り組める工夫が施されている。
- C. 巻末には、Expressions Plus(文法や機能表現のまとめ)や Useful Expressions(各課の活動で使える表現集)など、円滑な授業展開をサポートすることが可能な各種資料が充実している。
- D. 学習指導要領の内容に関しても、各所において適切な扱いがなされている。

#### (1) 話すこと [やり取り]

…Let's speak about... **Task 2** / **Goal**, What do you think?など

#### (2) 話すこと [発表]

…Let's speak about... **Goal**, Let's write about... **TRY** など

#### (3) 書くこと

…Let's write about... **Task 2** / **Goal** など

#### (4) 上記の基礎となる「思考力・判断力・表現力等」

…基礎的な文法事項 / 様々な言語の使用場面・言語の働き / 言語活動

Part 1～3 全般

## 【CONTENTS】

課	タイトル	学習事項
	はじめに	パラグラフの展開パターン
<b>Part 1 : Basic Expressions</b> (文法の復習)		
1	Have you ever experienced any cultural differences? 【文化】	さまざまな主語の形
2	Where do you usually buy things? 【買い物】	さまざまな動詞の形
3	International events and cultural exchange 【国際交流・ボランティア】	名詞のはたらきをする表現
4	How have you been lately? 【日常生活・将来】	形容詞のはたらきをする表現
5	How do you watch movies and things? 【エンターテイメント】	副詞のはたらきをする表現
<b>Part 2 : Functional Expressions</b> (機能表現)		
1	Making life better 【社会・生活】	感情を表す
2	Good eating habits 【食習慣】	助言する・忠告する／必要・義務を表す
3	Visiting a new place 【旅行】	勧誘する・提案する／依頼する
4	Where would you like to live in the future? 【暮らす場所】	賛成する／反対する
5	Which candidate is the right person? 【選挙】	意見を述べる／希望を述べる
<b>Part 3 : Express Yourself Logically</b> (論理的な自己表現活動)		
1	Advertising a language school 【外国語学習】	パラグラフの構成
2	Inventions and discoveries 【発明】	例示・列挙
3	How people use their smartphones 【スマートフォン】	比較・対照
4	Our accommodation in Okinawa 【宿泊先の条件】	原因・結果
5	Getting ready for high school exams 【勉強の仕方】	時間的順序・手順
	スピーチをしてみよう	
	プレゼンテーションをしてみよう	
	ディベートをしてみよう	
	ディスカッションをしてみよう	